

令和6年度 後期学校評価アンケート結果・分析と方策

利尻町立沓形小学校

【学校経営や教育活動への評価】						令和7年2月発行 学校だより資料					
No.	評価項目			評定	割合(%)						
1 最重要	保護者	お子さんは学校へ行くのを楽しみにしていますか。	平均	3.2	1.0	7.4	2.0	11.1	3.0	33.3	
	児童	(低)学校に来るのはたのしみですか。		3.4	1.0	3.4	2.0	6.9	3.0	34.5	
		(高)学校に来るのはたのしみですか。		2.9	1.0	10.3	2.0	13.8	3.0	48.3	
	教員	【集団づくり】特別活動】他者と関わり合いを深め、自己決定・自己実現の向上を図る中で、ひとりひとりのよさを生かし伸ばす、居心地のよい集団作りに取り組んでいますか。		3.3	1.0	0.0	2.0	9.1	3.0	54.5	
考察と課題						なぜ?					
*3者の大きなずれは見られない。 *高学年には「学校に来るのが楽しみではない」と思っている児童の割合が高い。 *保護者の回答からも、お子さんが「学校に行くのを楽しにしていない」と心配されている様子が伺える。						※高学年の児童が、学校の活動のみならず、子どもたち自身が忙しく「やらねばならないこと」に追われている。 ※保護者の心配について…マイナスの報告はあるが、ゼロの報告を受けることは無いため、マイナスのイメージのみが強くなってしまうことも。子どもたちの発達について、成長を課題ととらえてしまうことも考えられる。					
方策は						*子どもたちが「楽しいと思う活動」を学校の中に仕掛けいく。「やらされている感ではなく、「自分がやっている意識を」 *学級集団の中に自分の居場所があり、自己有用感を感じられる活動(みんなで行事の取組をする、課題に取り組む) 発達段階についても、保護者と共有していく。					
2	保護者	本校は、教育方針や学校行事、様々な教育活動について、参観日・懇談資料や学校・学級などで情報提供するよう努めていますか。	平均	3.7	1.0	0.0	2.0	3.7	3.0	25.9	
	児童	(低)がうこうであったことを、おうちの人につなげていますか。		3.2	1.0	3.4	2.0	17.2	3.0	37.9	
		(高)学校での出来事を、おうちの人には話をしていますか。		3.2	1.0	3.4	2.0	20.7	3.0	31.0	
3 学校づくり	教員	保護者会や面談、および学級通信等を通じて、子ども達の様子を伝えていますか。		3.6	1.0	0.0	2.0	9.1	3.0	18.2	
	保護者	本校は、一人一人の子どもをよく理解しようと努めていますか。 ※各種児童アンケートを活用し、教育相談を実施しています。		3.3	1.0	7.4	2.0	7.4	3.0	33.3	
	児童	(低)こまつことがあつたら、先生にそうだんしていますか。		3.1	1.0	6.9	2.0	24.1	3.0	20.7	
		(高)悩みや困ったことがあつたら、先生にそうだんできていますか。		2.5	1.0	20.7	2.0	34.5	3.0	20.7	
4	教員	【個に応じた指導】③→①②児童の悩みや課題の解決、いじめの早期発見・早期解決のために、教育相談を充実させ、子ども達の困ったに寄り添うチーム型小学校として機能していますか。		3.4	1.0	0.0	2.0	0.0	3.0	63.6	
	保護者	本校は、お子さんの学習内容やその成果を分かりやすく伝えるように努めていますか。 ※学級通信・学級だより等で子ども達の変容や頑張りについて発信しています。		3.4	1.0	7.4	2.0	0.0	3.0	37.0	
	児童	(低)がうこうでのべんきょうはよくわかりますか。		3.3	1.0	0.0	2.0	6.9	3.0	51.7	
		(高)授業で勉強したことがよく分かりますか。		3.2	1.0	3.4	2.0	10.3	3.0	44.8	
5 自ら学び主体的に行動	教員	児童の学習成果や課題を保護者に説明していますか。		3.6	1.0	0.0	2.0	9.1	3.0	18.2	
	保護者	本校は、授業内容や指導方法の工夫など、子どもの学習意欲を引き出すよう努めていますか。 ※学校研究の充実を図り、日常の授業改革を進めています。		3.2	1.0	3.8	2.0	15.4	3.0	42.3	
	児童	(低)ともだちと一緒に楽しく授業にとりくんでいますか。		3.4	1.0	3.4	2.0	3.4	3.0	41.4	
		(高)ともだちと一緒に楽しく授業にとりくんでいますか。		3.2	1.0	0.0	2.0	24.1	3.0	27.6	
6 重点的に行動	教員	【授業改善】①→②研修】主体的・対話的で深い学びに繋がる実践的指導力の向上に努め、児童が自分の考えを表し、仲間に伝える場面のある授業づくりを図っていますか。 1→③総合的な学習の時間】教科横断的視点による、おもさとキャリア教育の一層の推進をしていますか。		2.7	1.0	0.0	2.0	27.3	3.0	72.7	
	保護者	本校は、自ら学ぶ姿勢を子どもに育むため、適切な課題を与え、家庭学習の充実に努めていますか。 ※家庭学習サポートアップ週報を設定し、日常の学級指導と合わせ、家庭学習の習慣化や内容の充実を指導支援しています。		2.5	1.0	0.0	2.0	54.5	3.0	36.4	
	児童	(低)じぶんから、かいてがくしゅうにとりくんでいますか。		3.2	1.0	3.8	2.0	11.5	3.0	42.3	
		(高)自分であて立てて、家庭学習をしていますか。		3.3	1.0	3.4	2.0	17.2	3.0	24.1	
7	教員	自ら学ぶ姿勢を子どもに育むため、適切な課題を与え、家庭学習の充実に努めていますか。		3.2	1.0	9.1	2.0	9.1	3.0	36.4	
	保護者	本校は、パソコンやタブレットのICT機器を活用して、子どもの自主性で主体的な学びを保障しようと努めていますか。		3.2	1.0	0.0	2.0	7.4	3.0	40.7	
	児童	(低)タブレットを使った学習は楽しいですか。		3.4	1.0	3.4	2.0	17.2	3.0	10.3	
		(高)タブレットを使った学習は楽しいですか。		3.8	1.0	0.0	2.0	0.0	3.0	17.2	
考察と課題	教員	パソコンやタブレット等のICT機器および、デジタル教科書や電子書籍などの各種コンテンツを活用して、子どもの自主性で主体的な学びを保障しようと努めていますか。		2.8	1.0	9.1	2.0	9.1	3.0	72.7	
	考察と課題						なぜ?				
	*5に関して、児童は概ね「楽しい」と感じながら授業を取り組めているが、保護者および教員側には、課題意識が見られる。 *6に関して、保護者が「先生たちは子ども達の運動意欲を引き出してくれている」と実感できる、教員も「学校全体で、授業づくりに取り組んでいる」と実感できる研究・研修の取り組みが行われている。 *7に関して、家庭学習の充実度にも今後の工夫改善が望まれる。 *8に関して、急速にICT化を進めており、保護者、児童からは評価が高い。しかし、教員の意識としてはそれが、「主導的で主体的な学び」につながっているか、手こたえを感じていない様子が伺える。						※現在の総合的カリキュラムには、満足していない教員が多いのではないか? 方策は →各学年でテーマを設定し、総合的カリキュラムを作成する。 →各学年でテーマを設定し、総合的カリキュラムを作成する。 例:3年:自然(海)、4年:福祉(障がい者・高齢者)、5年:自然(山・自然保護)、6年国際交流orSDGs。				

8	保護者	本校の子どもたちは、『思いやり感謝』の心が育っていますか。 ※字級指導・連絡等を通して、充実を図っています。	3.0	11.1	11.1	40.7	37.0	
		(高・低)ともだちにやさしくしたり、「ありがとうございます」と言えていますか。	3.6	3.4	3.4	24.1	69.0	
		(高・低)ともだちにやさしくしたり、「ありがとうございます」と言えていますか。	3.5	0.0	6.9	34.5	58.6	
	教員	2-②【特別の教科道徳】 道徳科の授業の工夫・改善による「感謝」と「思いやり」の心を重点とした道徳性の育成を図っていますか。	3.1	0.0	9.1	72.7	18.2	
9	保護者	本校の子どもたちは、学校生活(行事・学習活動等)で、生き生きと活動していますか。	3.4	3.7	0.0	48.1	48.1	
		(低)べんきょうやぎょうじで、ともだちといっしょにがんばっていますか。	3.7	3.4	0.0	24.1	72.4	
		(高)学習や行事で、仲間と協力して最後までやりきることができていますか。	3.5	0.0	6.9	34.5	58.6	
	教員	【基本的生活習慣】2-①異年生集団を軸とした教育活動の推進や、学ぶ・行動する土台作りである、基本的生活習慣を大切にしていますか。	3.1	0.0	9.1	72.7	18.2	
10	保護者	本校は、全教職員で子どもを見ていこうと、協力体制づくりに努めていますか。	3.5	7.4	3.7	22.2	66.7	
		(低)いろいろな先生とはなしをしていますか？	3.3	3.4	17.2	27.6	51.7	
		(高)いろいろな先生にはけまされたり、声をかけられたりしていますか。	3.3	0.0	3.4	65.5	31.0	
	教員	【組織】チーム苗小として生き生きとチャレンジするとともに、全教職員で力を合わせて子どもを育てる体制づくりができますか。	3.6	0.0	0.0	36.4	63.6	

<p>考察と課題</p> <p>*8に関して、保護者・教員ともに評価が低いが、児童は「友達にやさしくできている」「ありがとう」と言えていること、自己評価が高い。この問題をいかに解消していくかが、大きな課題。</p> <p>*9に関して、生き生きとした学校生活を送っている状況に評価が高いが、教員側の課題として「基本的な生活習慣」の部分がネックになっている様子が伺える。</p> <p>*10に関して、全体的に高い評価となったが、保護者としては、「学校全体で動けているのか?」という疑問が投げかけられている評価である。</p>	<p>なぜ?</p> <p>*8について …大人は要求が高くなりがち、「もっとできる」という期待から、厳しい評価になっているのかも。</p> <p>*10について …教科担任などは実施しているが、保護者に十分伝わっていないこともある。</p> <p>方策は</p> <p>*8について …家庭と子どもたちの成長を確かめ合う。(通信・電話・懇談で課題だけでなく、長所も伝える) 字級集団づくりを丁寧に。(みんなのため之力を發揮することの良さを伝える)</p> <p>*10について …(通信(学校だより・字級通信)等)様子を知らせる。(教科担任の先生に書いてもらうことがあっても良い)</p>
---	--

		11. 保護者・児童・教員の立場から見た、学校や学級のきまりを守って生活している状況					12. 保護者・児童・教員の立場から見た、学校への信頼・安心を深める危機管理に取り組んでいますか。					13. 保護者・児童・教員の立場から見た、子どもの体力向上のため、自分の体と健康に興味を持ち、体を動かす心地よさを感じられるよう努めていますか。					
11 児童	児童	保護者	本校は、子どもが健康で安全・安心の生活の中で、前向きな気持ちになれるよう指導していますか。					3.3	7.4	3.7	37.0	51.9					
		(低)	(低)べんきょうやぎょうじで、「もっとやってみよう」という気持ちになりますか。					3.2	3.4	13.8	41.4	41.4					
		(高)	(高)勉強や行事などで、もっとやってみよう、挑戦してみようという気持ちになりますか。					2.9	3.4	27.6	44.8	24.1					
		教員	1-①【教育課程】組織的・計画的に教育の質的向上を図る教育課程と、カリキュラム・マネジメントの推進が図られていますか。					2.8	0.0	27.3	63.6	9.1					
12 児童	児童	保護者	本校は、子どもに生命を大切にする心や、社会のルールを守るよう指導していますか。					3.2	3.3	6.7	56.7	33.3					
		(低)	(低)がっこうや、クラスのきまりをまもれていますか。					3.5	3.4	0.0	41.4	55.2					
		(高)	(高)学校や学級のきまりを守って生活していますか。					3.6	0.0	0.0	44.8	55.2					
		教員	【危機管理】学校への信頼・安心を深める危機管理に取り組んでいますか。					3.2	0.0	9.1	63.6	27.3					
13 児童	児童	保護者	本校は、子どもの体力向上のため、自分の体と健康に興味を持ち、体を動かす心地よさを感じられるよう努めていますか。					3.4	0.0	3.7	55.6	40.7					
		(低)	(低)体をうごかすことは好きですか。					3.7	3.4	3.4	17.2	75.9					
		(高)	(高)進んで体を動かしていますか。					3.4	3.4	3.4	44.8	48.3					
		教員	【体力向上】3-③子どもの体力向上のため、自分の体と健康に興味を持ち、体を動かす心地よさを感じられるよう努める計画・指導ができますか。					3.5	0.0	9.1	36.4	54.5					

考察と課題
＊1に記して、学年が上がるごとに「挑戦してみよう」という気持ちの低下がみられる。教員の評価項目とは、内容に差異があるが、教育課程の質的向上が子ども達の挑戦につながるように、検討する必要がある。
＊1管理に関する問題で、教師と児童との評価の開きがある。保護者が安心して児童を学校に送り出せるよう、学校側の対応を徹底し、発信が求められている。

14 家庭・地域 重点 学校連携	保護者	本校は、学習や行事を通じて、保護者との連携を大切にしようと努めていますか。	3.4	7.4	0.0	40.7	51.9	
		(低)がっこうは、たのしいですか。	3.6	6.9	0.0	20.7	72.4	
		(高)学校レクなどの、保護者と一緒に行事は楽しいですか。	3.7	0.0	10.3	13.8	75.9	
		【評価と業務改善】2—④—② 保護者や地域の思いや願いに耳を傾け、子育てや教育を語り合い、児童のやる気を応援するPTA活動の工夫や改善が図られていますか。	3.1	0.0	9.1	72.7	18.2	
15 重点 学校連携	保護者	本校は、町内各校との連携を大切にしていますか。 ※児童生徒同士の相互授業授業や、教職員間の交流など、様々な形で小中高連携の取り組みを進めています。	3.4	3.7	3.7	37.0	55.6	
		(低)せんほうし小学校や、ほいく所さんといっしょにするべんきょうは、たのしいですか。	3.8	3.4	0.0	13.8	82.8	
		(高)仙法志小学校やリ尻中学校、保育所との交流授業や活動は楽しいですか。	3.6	0.0	10.3	20.7	69.0	
		⑤【教育連携】4—①④—③ 教育・組織・人と繋がる・繋げる、教育連携の充実と、子供たちの成長発達を支えるネットワークづくりに努めていますか。	3.2	0.0	18.2	45.5	36.4	

考察と課題
*14に関して、保護者や児童には、学校のPTA活動についての願いや工夫が理解された評価となっているが、教員の課題意識としては、PTA活動の工夫改善が必要だという意見が見られる。
*15に関して、保小中高と様々な学校との交流が増え、児童は楽しく取り組めている様子が伺える。

PTA活動の評価がなぜかのはなぜ?
・引継ぎをしきりに行なっていないため、どうしても教師が進める教師主導型活動になってしまっている。
そこが、負担感の大きさにつながっているのではないか?

方策は
* 前年度の部長さんから新年度の部長さんへと、引き継ぐ形をとっていきたい。
保護者の皆さんとも協働し、お互いが主体的に活動できるような意識を持ちたい。

◆学校の教育活動へのご意見、教職員研修により、
教職員の、保護者や学校に入りする関係者への挨拶についてのご意見を頂きました。
どのような関係性であっても、教職員自ら率先して気持ちの良いいざつや態度が大切であり、子どもたちの手本となるように改善・徹底を図ります。
また、保護者との細かな連携を大切にし、協力して子どもたちを見守り、育てる意識を大切にしなければなりません。
授業づくりについては、学校研究を軸に、子ども達や保護者に意図が伝わり、達成感を感じることのできる工夫をしていきます。
今後とも地域との連携を大切にしながら、その取り組みの目的に応じた対応を行います。